

令和4年度決算に係る

定期監査資料

令和5年7月

鳥取県立博物館

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 勧告事項	
	(2) 指摘事項	
	(3) 監査意見	
	(4) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	2 頁
5	主な事業に関する調べ	3 頁
6	決算資料	1 3 頁
7	事業別実施状況調べ	1 3 頁
8	予備費の充用調べ	1 3 頁
9	現金の取扱状況	1 4 頁
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
10	財産に関する調べ	1 4 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
11	財産の貸付け及び使用許可調べ	1 6 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの)	
12	借受不動産明細調べ	1 6 頁
13	職員駐車場の管理状況調べ	1 6 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
14	寄附物件の受納状況調べ	1 7 頁
15	備品の処分状況調べ	1 8 頁
16	貸付金等状況調べ	1 8 頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
17	博物館運営	1 9 頁
	(1) 管理運営	
	(2) 利用状況	
18	博物館資料保有状況	3 5 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 勧告事項
該当なし

(2) 指摘事項

指 摘 事 項	措 置 状 況 等
共同企画「不滅の刀～よみがえる伯耆国の赤羽刀～」に係る輸送・展示等業務委託契約について、支出負担行為の事務手続きが遅延していた。	仕様書を作る時点でも事業担当者と会計担当者間で情報共有し、適切な時期に支出負担行為を行う。

(3) 監査意見
該当なし

(4) 決算審査意見
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

指 摘 事 項	処 理 状 況 等
鳥取県立美術館整備基本計画においては、「コレクションポリシー（収集方針）の見直しを図り、より広範囲の、国内外の優れた美術作品等の収集を図る」と記述されていますが、収集方針の見直し内容について、県民に対して十分な説明がない中で、令和3年度に1,890万円で購入した美術品8点のうち5点は鳥取県にゆかりのない現代美術作品であり、従来の収集方針にはない作品が購入されています。また、基金により購入を開始した平成9年度から令和3年度までに約12億円をかけて819点の作品を購入していますが、これらの作品に関する県民へのPRが十分に行えていない状況であります。県民が待ち望む美術館開館に向けて、引き続き美術品を収集していくためにも、基本構想の段階から目指している県民本位の「県民立美術館」という目標を念頭に、美術品の収集方針、収集した作品によりどのような美術館を目指そうとしているのか、県民に十分理解いただけるよう丁寧な説明を行うべきであります。	県立美術館が新設されることに伴い、今後は県民にさまざまなジャンルの優れた作品に触れていただきたいと考え、鳥取県ゆかりの作品に加えて国内外の優れた美術作品や同時代の美術の動向を示す作品も収集するよう方針の見直しを行いました。見直し内容について県民に届く十分な説明が行えていませんでした。 令和4年9月以降、県内各所で美術館のコンセプトや収集方針の拡充、購入作品の意義、現代アート全般の魅力等を伝えるため、学芸員が中心となって説明を行う「美術館学芸員キャラバン」や、ウォール作品をモチーフにした子どもたちや一般向けの創作ワークショップ等を継続的に実施しています。 このような活動を今後も継続して行うことにより、美術館の目指しているもの、地域社会での役割や楽しみ方などについて県民に十分理解いただけるよう努めていきます。

3 職員の定員、現員調べ

(令和5年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当該年度	4.4.1現在	当該年度	4.4.1現在	当該年度	4.4.1現在	当該年度	4.4.1現在	
定 員	4	4	19	19	0	0	23	23	
現 員	() 4	() 4	() 18	() 18	() 0	() 0	() 22	() 22	
過不足(△)	0	0	△1	△1	0	0	△1	△1	
臨時的 任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
会計年度 任用職員	4	4	39	39	3	3	46	46	・事務4名（一般事務2名、事務補助1名、複写機オペレーター1名） ・技術39名（史料補修専門員2名、資料管理専門員1名、貝類標本専門員1名、広報・普及専門員1名、受付5名、看視員29名） ・現業3名（警備員3名）

4 役付職員の調べ

(令和5年7月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
館長	漆原 芳彦	1	3	通算勤務期間 6年3月
副館長(兼)	尾崎 信一郎	1	3	本務 美術館整備局美術振興監 継続勤務期間 16年6月 (令和4年3月31日付定年退職)
副館長兼総務課長	藤原 浩	2	3	出納員 継続勤務期間 5年3月
学芸課長	川上 靖	2	3	継続勤務期間 22年3月
美術振興課長	三浦 努	3	3	継続勤務期間 21年3月
総務課課長補佐	山本 哲慎	0	3	
総務課課長補佐	桑本 英明	0	3	
主幹学芸員	一澤 圭	2	3	継続勤務期間 18年3月
主幹学芸員	福代 宏	9	3	継続勤務期間 29年3月

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
企画展開催費	81,779	0	0	30,252	51,527
将来ビジョン					
令和新時代創生戦略	大項目 中項目 小項目 SDGsゴール (04質の高い教育をみんなに)				
政策項目					

1 事業の目的、概要

鳥取県の自然、歴史・民俗、美術分野の資料、作品、研究成果等や世界的・全国的に貴重な作品等について、広く県民に紹介する企画展を開催する。

2 事業の内容、実施の状況

【開館50周年記念企画展「三蔵法師が伝えたもの 奈良・薬師寺の名品と鳥取・但馬のほとけさま」】

○当該企画展に係る決算額 (単位：千円)

	事業費	左の内訳	
		入館料収入等	一般財源
予算額	17,506	1,572	15,934
決算額	17,407	1,571	15,836

(1) 目的及び事業の実施状況

ア 目的

この企画展は、当館の開館50周年と薬師寺玄奘三蔵院伽藍落慶30周年を記念として開催した。三蔵法師を開祖とする法相宗の大本山薬師寺（奈良市西ノ京）の歴史と文化を、同寺所蔵の名品をもとに紹介すると同時に三蔵法師が伝えた仏教や仏典の鳥取県下や但馬地方（兵庫県北部）におけるひろがりを示す、奈良～平安時代の観音菩薩を中心とした仏像、釈迦十六善神像といった仏画の名品を展示した。

イ 事業の実施状況

- ・奈良時代、法相宗・興福寺の高僧・玄奘（734～818）が伯耆（鳥取県西部）に隠棲した際、開創されたとされる阿弥陀寺（のち豊寧寺、南部町賀祥）関係資料も展示・紹介した。
- ・会期中の週末には、「お坊さんがやって来た」と題した薬師寺僧による法話を企画し、大変好評であった。

会期	入館者数	目標
令和4年4月9日(土)から5月15日(日)まで 44日間 ※うち毎週月曜休館6日間	4,705人	6,000人

うち有料入館者数：2,840人(入館者数の60.4%)

(参考) <入館者の地域別割合>アンケート回答者

地域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数[人]	221	58	48	103	0	430
割合[%]	51.4	13.5	11.2	23.9	0.0	100

(2) 令和4年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・これまでの博物館の調査研究の歴史を反映する心がけ、鳥取県の仏教美術の名品も多数展示した。
- ・「お坊さんがやって来た」の他、はじめてのお写経講座、管長講演会、学芸員講座、まほろば塾での夢枕獭氏による講演会など多彩な普及事業を行った。

(3) 成果及び効果

- ・開催当初の出足が悪く、来場者数に関しては目標に達することはできなかったが、来館者アンケートでは、大変よかった・よかったと回答された方が99.8%（大変よかった62.2%・よかった37.6%）であり、来館者の満足度は高かった。
- ・50周年記念展であったので、単純な薬師寺の名品展とせず、これまでの博物館の調査研究の歴史を反映する心がけ、鳥取県の仏教美術の名品も多数展示した。また、仏像の展示にとくに力を入れ、仏像の世界に浸れる雰囲気を作った。
- ・週末に「お坊さんがやって来た」と題し、薬師寺僧による法話を企画したが大変好評であった。

<入館者の満足度等>アンケート回答より

感想(主なもの)

- ・「鳥取でなぜ三蔵？」と最初は思ったが、展示をみてその意図がよく伝わった。力の入った展示に感動。東京から来た甲斐があった。
- ・県内の調査に基づいている点が貴重。
- ・地域の文化財と奈良・薬師寺の文化財を比較できて面白かった。
- ・秘仏を含め貴重な仏像を見ることが出来た。360°見れたのも良かった。
- ・作品数の多さ。順路・解説わかりやすかった。
- ・仏像がたくさん展示してあった部屋が迫力満点で大満足でした。普段ならみられない裏側や横からもみることできて興味深かったです。
- ・記念講演会、薬師寺まほろば塾、トークお坊さんがやってきた、写経講座など関連イベントが充実していて良かったと思います。できる限り参加させていただきました。また、仏像の展示コーナーは圧巻でした。国宝などの仏像が間近に観られ、とても貴重な体験をさせていただきました。図録へのサインも良かったです。

(4) 課題

- ・本展の広報は所蔵先の社寺関係者をはじめとする県内を中心に行った。唯一「西ナビ」（JR西日本広報紙）という媒体で紹介されたが、もっと関西（京都・奈良）の仏像ファンに広報すればゴールデンウィークの入場者が増えたのではないかと考えられる。

【ティラノサウルス展 ～T. rex 驚異の肉食恐竜～】

○当該企画展に係る決算額

(単位：千円)

	事業費	左の内訳	
		入館料収入等	一般財源
予算額	41,987	24,207	17,780
決算額	41,951	24,200	17,751

(1) 目的及び事業の実施状況

ア 目的

- ・白亜紀末の北アメリカに生息していた大型肉食恐竜「ティラノサウルス・レックス」は多くの研究者を魅了し、映画を筆頭にメディアにも多数取り上げられるなど、もっとも有名な古生物の一種である。そのティラノサウルスの姿かたちや身体能力、生活様式、進化のプロセスなど、最新の研究成果を紹介・解説することを目的とした。

イ 事業の実施状況

- ・中国地方初公開となる愛称「アイヴァン」と呼ばれるティラノサウルスをはじめ、ディロンやゴルゴサウルスなどティラノサウルス類の恐竜や、ティラノサウルスと同じ時代・場所に生息していたトリケラトプスやエドモントサウルスなど、恐竜の全身骨格（複製）を16体展示した。
- ・ティラノサウルスロボットやインタラクティブ映像（ユーザーの動きに反応する映像）を用いるなど、大迫力の恐竜の世界を体験していただいた。
- ・展示を見て回答するクイズラリーや幼児・児童でも読みやすい補助解説パネルを設置するなど、学習効果を高める取り組みも実施した。
- ・新型コロナウイルスの影響を受け、障がい者の方や遠方在住者の方に対するオンライン展示解説を行った。

会 期	来場者数	目標
令和4年6月18日(土)～8月28日(日) [休館日4日を含む72日間]	64,139人	40,000人

うち有料入館者数：28,735人(入館者数の44.8%)

<来場者の地域別割合>アンケート回答者

地域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
回答者数	78	3	8	19	1	109
割合[%]	71.6	2.8	7.3	17.4	0.9	100

<関連事業参加者数>

内 容	参加者数
連動イベント「ティラノサウルス展を見るティラノサウルス展」(6/20)	計76人
連動イベント「ティラノサウルスコンテスト」+「T-REX×鳥取城跡・仁風閣フォトスタンプラリー」(7/16)	計220人
自然講座「鳥取養護学校高等部のみんなと化石のでき方を学ぼう!～化石入り岩石づくり体験～」(7/17)	15人
自然講座「化石クリーニング教室」(8/6)	中止※
自然講座「化石レプリカをつくろう! [ティラノサウルスの歯!]」(8/14)	中止※
自然講座「ふわふわ!キラキラ!鳥の羽を楽しもう」(8/20)	中止※

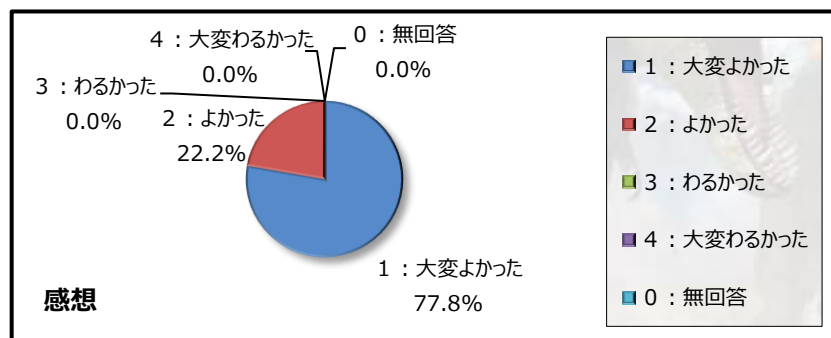
※新型コロナウイルスの感染拡大を受け、中止とした。

(2) 令和4年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・ティラノサウルスの迫力を体験してもらう構成・レイアウトで展示をした。
- ・クイズラリーの実施や子ども用パネルの設置など、学習の場となるような工夫を行った。
- ・多数のフォトスポットや第三特別展示室を恐竜グッズに特化したショップなど、来場者の満足度向上のためのコンテンツを設置した。
- ・外部機関(鳥取市、鳥取市教育委員会、鳥取市文化財団 仁風閣、日本ティラノサウルス保存会)と連携し、ティラノサウルスの着ぐるみを使用した連動イベントを開催した
- ・学校等の利用を促進するため、会期を1か月延長して夏休み前に開幕した。

(3) 成果及び効果

- ・入館者目標の40,000人に対して実績は64,159人で目標を大きく超えるとともに、当館の企画展入館者数の新記録を達成した。
- ・来場者アンケートでは、「大変よかった」「よかった」が全てで、満足度が非常に高かったことが示された。



＜入館者の満足度等＞アンケート回答より

感想(主なもの)

- ・「骨格標本がとても大きい上に、間近で見られたのがよかったです」「豊富な展示と端的で分かりやすい説明」「実物大で感動した」「様々な角度から見て学び、楽しむことができました」などの肯定的な声が多く寄せられた。
 ⇒恐竜の魅力の一つが「大きさ」にあるため、導線を広く取り、実物大の恐竜の骨格標本を様々な角度から鑑賞できるレイアウトが好評に繋がったと考えられる。
- ・「特にロボットが良かった」「動きがとても迫力がある」「CGが面白かった」「タッチしてできる映像などとても面白かった」などと、ティラノサウルスロボットとインタラクティブ映像に関する肯定的な声も多く寄せられた。
 ⇒展示物とともに、両コンテンツも好評であった。来場者の中には未就学児童が非常に多く、直感的に楽しめる動的展示を積極的に取り入れたことで、彼らの満足度向上にも繋がったのではないかと考えている。
- ・「2回来たのでじっくりみれた」「3度連れてきました」「6回きました」など、リピーターも多かったようである。
 ⇒「この地域で恐竜展は珍しい」との声にもあるように、いわゆる「恐竜好き」の来場者にとっては貴重な展示であるため、何度も足を運んでいただけたと推察する。

(4)課題

- ・解説パネルは巡回展の既製パネル（大人向けの内容、ルビは無し）を設置した。これについて来場者から「子どもには分からない」とのご指摘を受け、子ども用パネルを作成・設置することでカバーをした。関係者間できちんと確認と協議をし、あまねく来場者に対応した解説パネルの設置を事前に行うべきであった。
- ・自家用車で来られる来場者が非常に多く、特に土日祝日は当館駐車場が混雑し、来場者に多大な迷惑をお掛けした。本展に限らずこのような状況は度々見受けられるので、駐車場整備（または代替案の検討）が必要である。
- ・新型コロナウイルスの影響を受け、障がい者の方や遠方在住者の方に対するオンライン展示解説を行ったが、当館は展示室での通信環境が整っておらず不安定な環境下での解説となり、参加者にはご不便をお掛けした。通信環境及び設備の整備が必要である。

【開館50周年記念企画展「すべてみせます！ 収蔵庫の資料たち」】

○当該企画展に係る決算額 (単位：千円)

	事業費	左の内訳	
		入館料収入等	一般財源
予 算 額	7, 248	2, 392	4, 856
決 算 額	7, 217	1, 923	5, 294

(1)目的及び事業の実施状況

ア 目的

この企画展では、昭和47（1972）年に自然・人文・美術の総合博物館として開館した鳥取県立博物館の資料収集と調査研究の50年を紹介した。前身である鳥取県立科学館時代から収集されてきた県民一人一人の財産である資料を、可能な限りすべて展示し、県立博物館の意義と役割を共に考えることを目的とした。

イ 事業の実施状況

- ・自然、人文（歴史・民俗）、美術のすべての分野の収蔵資料約20万点のうち約6万点を展示した。展示できなかった資料についても収蔵状況の写真を紹介するなどした。また、デジタル化された収蔵資料を公開する「とっとりデジタルコレクション」取り組みの紹介も行った。
- ・会期中の土曜日と日曜日には、学芸員が展示会場に常駐し、来場者と対話した。

会 期	入館者数	目 標
令和4月10月29日(土)から12月11日(日)まで 44日間 ※うち毎週月曜休館6日間	7, 490人	5, 000人

うち有料入館者数：4, 127人(入館者数の55.1%)

(参考) <入館者の地域別割合>アンケート回答者

地 域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数[人]	168	30	19	27	3	242
割合[%]	67.4	12.4	7.9	11.2	1.2	100

(2) 令和4年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・半世紀にわたり収集、保管されてきた収蔵庫の資料を、可能な限りすべて展示し、博物館の根幹にある資料収集と調査研究の紹介を行った。
- ・県政番組やYouTube番組、ならびにSNSにより積極的に発信した。

(3) 成果及び効果

- ・これまでに例のない企画であったが目標を超える入場者があり、来場者から感動や激励の声が多く寄せられた。
- ・資料の収集・保存の機能と学芸員の存在価値について肯定的な意見が多く寄せられ、理解を得ることができた。
- ・歴史分野では、鳥取藩政資料の中の「家老日記」をすべて展示し、ボランティアによる解説やデータベース公開などの活動も紹介したところ、全国ニュースで取り上げられ、それを読まれた大手出版社から新書出版のオファーがあり、出版を進めることになった。
- ・新聞やテレビ、SNSなども多く取り上げられ、全国的にも話題となり、博物館の意義を共に考えることができた。

<入館者の満足度等>アンケート回答より

感想(主なもの)

- ・収蔵品の多くを目にし、涙が出るほど感動しました。
- ・よくぞこれだけの県民の宝を守ってくれていると感激しました。
- ・子供の頃を思い出し、また父・母に会えた気持ちになり、わくわくしました。ありがとうございました。
- ・日頃どう収蔵されているのか、博物館による収集・整理・研究にどのような意義があるのか(いかに価値あることをなさっているのか)が良く分かりました。展示方法含め、大変すばらしい企画だった。
- ・とにかくよかった。子どもたち、孫たちに見せたい。／もう一度やってほしい。孫にも見せたかった。
- ・こんなにすばらしい収蔵品が眠っていると知りませんでした。
- ・圧倒的な物量に驚きました。国宝展にも勝るとも劣らないスケールで、来たかいがありました。
- ・50周年にふさわしい素晴らしい展示でした。多くのコレクションを大事にした博物館としてこれからも期待します。
- ・県立博物館50thを偲ぶ学芸員さんたちの情熱がすごく伝わってきました。
- ・疑問にすぐ学芸員さんが答えてくれて、より一層楽しめました。／学芸員・研究員の解説がとても良かった。
- ・県立博物館の歴史を肌で感じる事ができた。／県博の凄さがわかりました。
- ・来年度もまたぜひ企画してほしい!／第2回も開催してもらいたいです。／定期開催希望します。
- ・キャプションはUDフォントで可読性が高い点がすばらしい!
- ・鳥取県にはこんなにたくさんの宝物があるんですね!／こんなに多くすばらしい物が…。感動。
- ・鳥取県の美術界を形成した人々の苦勞(寄贈した方々の熱意も)がわかり、熱い思いを感じた。
- ・歴史的なもの、生物、化石、美術など多くの収蔵物を見て学ぶことができた。生物、とくに動物のはく製は圧巻でした。
- ・保管、修復されるご苦勞のおかげで、県民の財産となっています。今後もこのような大がかりな展示を拝見したいです。

(4) 課題

- ・収蔵総数約20万点のうち今回展示できた点数は約6万点だった。展示点数への驚嘆の声は多かったので収蔵数を視覚的に伝える目的は達成できたと思われるが、一方で「もっとみたい」「次もやってほしい」といった声もあり、今後の展示の検討において留意する必要がある。

【開館50周年記念企画展「安岡信義 1888-1933—近代洋画の黎明期を生きた画家」】

○当該企画展に係る決算額

(単位：千円)

	事業費	左の内訳	
		入館料収入等	一般財源
予算額	15,887	2,806	13,081
決算額	15,204	2,558	12,646

(1) 目的及び事業の実施状況

ア 目的

当館の開館50周年、鳥取市出身の洋画家・安岡信義の歿後90周年を記念し、安岡の画業の全容を初めて網羅的に紹介する回顧展として開催した。安岡の仕事の全貌に迫ると同時に、師にあたる岡田三郎助ら日本近代洋画を牽引する画家の作品を併せて紹介することで、同時代の諸相の中で安岡の画業を位置づける機会とした。また図画教師としての活動にも着目し、教え子らの作品を通じて、一地方画壇が形成される端緒を築いた安岡の美術教育者としての姿にも迫るものとした。

イ 事業の実施状況

- ・初公開作品を含め、現存する作品・関連資料を可能な限り網羅的に展示・紹介した。
- ・直接的にも間接的にも安岡の師にあたる黒田清輝、小林万吾、岡田三郎助ら洋画界を牽引した画家のいわゆる名品を複数点借用し、時代の諸相を展観した。
- ・特別講演会ならびに本展の図録寄稿論文に際して、日本近代美術研究の第一人者（2名）による協力を得て、一郷土作家の活動を全国区の文脈へと引き上げる工夫を行なった。

会 期	入館者数	目 標
令和5月2月11日(土・祝)から3月21日(火・祝)まで 34日間 ※うち3月20日を除く毎週月曜休館5日間	2,207人	5,000人

うち有料入館者数：1,064人(入館者数の48.2%)

(参考) <入館者の地域別割合>アンケート回答者

地 域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数[人]	103	9	4	23	1	140
割合[%]	73.6	6.4	2.9	16.5	0.7	100

(2) 令和4年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・「初めての回顧展」として、現存する作品のほぼ全てを紹介する機会とした。
- ・これまで博物館で実施されてきた調査研究を反映・展開し、郷土作家研究の充実と積極的な顕彰を図った。
- ・美術館の開館に向けた鑑賞教育の強化を念頭に置いた新たな試みとして、会場内の大型の名品を用いて、美術史学の基礎としての鑑賞（ディスクリプション）と対話型鑑賞を織り交ぜたワークショップと、対話型鑑賞ファシリテーターを対象としたディスクリプションの研修を行なった。

(3) 成果及び効果

- ・これまで収蔵作品点数は比較的多くありながらも顕彰の機会を逸していた画家を取り上げたことで、来場者からは力のある郷土作家の再認に繋がったと喜びの声が多く寄せられたと同時に、複数回来場された方も多かった。
- ・近代洋画の黎明期を支え、安岡信義の師にあたる黒田清輝、久米桂一郎、岡田三郎助、小林万吾らの大型の優品を借用展示したことで、同時代の様相の理解を促すと同時に、山陰では鑑賞の機会が極めて限られているこうした名だたる作家・作品を紹介する機会となり、来場者の満足度も高かった。
- ・現存する作品・資料の精査を進め、図録に資料編として編纂することで、今後の調査研究のための基盤とした。

<入館者の満足度等>アンケート回答より

感想(主なもの)

- ・郷土に関係する画家の存在を知らなかったので、知る機会になってよかった。
- ・絵を見るのが楽しい、面白いことだとわかった。
- ・安岡の作品の良さに再確認出来た。他作家の作品も見ごたえがあり満足した。
- ・近代洋画の黎明期を生きた日本人の人生を知りつつ絵を観覧できたため没入できた。
- ・安岡信義に焦点をあてつつ、影響を受けた画家、影響を与えた(育成)画家の作品が一堂に展示されており、比較して鑑賞することができた。
- ・地元の作家について、とても丁寧かつ詳細に紹介され、史的背景も展示品からよく理解できた。
- ・もう少し安岡と他作家エリアを明確に整理、離して展示した方が「味わえ」たと思う。
- ・二度目ですが、くりかえし見てもいいものです。デッサン、油絵のそれぞれのタッチの違いがそれぞれ魅力的。

(4)課題

- ・人出の少ない冬季で、なおかつ認知度の低い郷土作家の初めての回顧展であったため、テレビCMの本数(ヴァリエーション)を増やして広報面の強化を図ると同時に、地元フリーペーパー(2紙)での依頼掲載、NHK「日曜美術館」へのアプローチ(残念ながら不採用)、周辺小学校への来館誘致、SNSでの全5回のイベント告知を行なったが、残念ながら来場者数目標には達成しなかった。
- ・来場者数目標の達成には、よりキャッチーなタイトル設定等、多様な層に訴えかける戦略が必要であったと考える。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
博物館普及事業費	4,913	0	0	0	4,913
将来ビジョン	-				
令和新時代創生戦略	大項目 中項目 小項目 SDGsゴール 04 質の高い教育をみんなに				
政策項目	-				

1 事業の目的、概要

県民の生涯学習や学校教育を支援するために、講座や体験学習会、移動博物館などを実施するとともに、博物館の活動、研究成果、利用方法などについて広く情報を発信する。

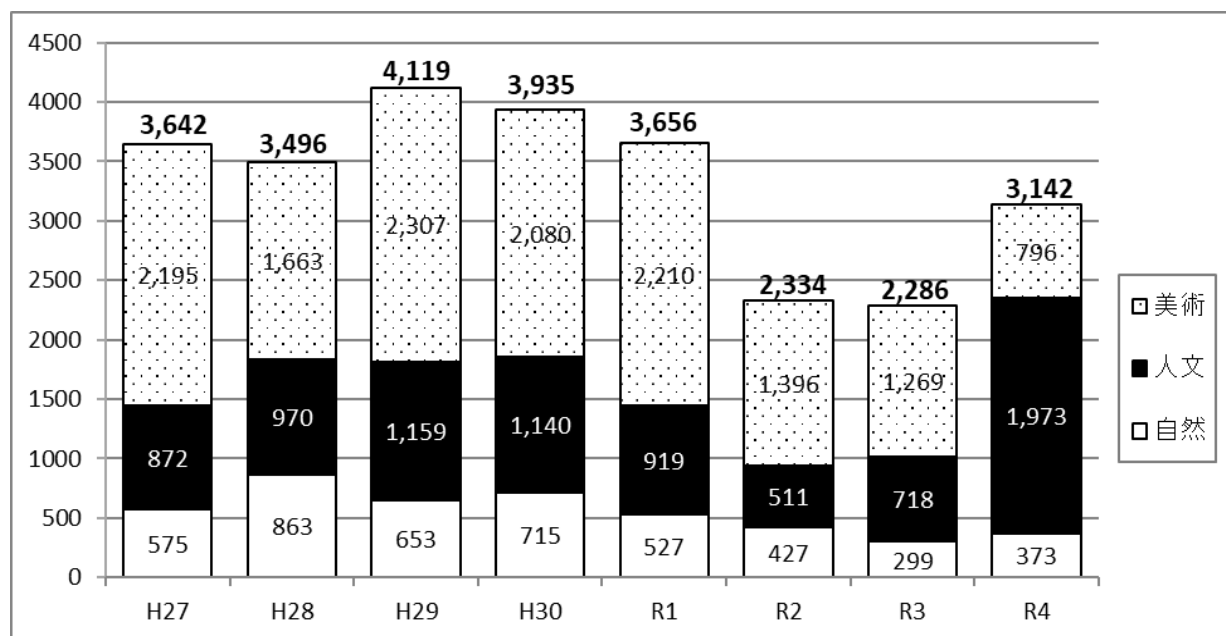
2 事業の内容、実施の状況

(1)生涯学習支援

- ・館内外で、各種講演会・ワークショップ・観察会等の普及講座を開催した。なお、美術分野「コレクション宅配便」を美術館整備課と連携して実施している。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況をふまえ中止とした講座があり、例年に比べて開催回数が減少した。なお、令和4年度の特徴としては、人文が企画展に係る講座で参加者が大幅に増え、美術は年度後半の講座減少により参加者が減少している。

普及講座の実績

(単位：回数=回 (中止回は除く)、参加者=人)



年度	自然		人文		美術		計	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
H27	18	575	30	872	50	2,195	98	3,642
H28	20	863	32	970	53	1,663	105	3,496
H29	21	653	37	1,159	63	2,307	121	4,119
H30	20	715	36	1,140	61	2,080	117	3,935
R1	17	527	33	919	54	2,210	104	3,656
R2	11	427	25	511	41	1,396	77	2,334
R3	12	299	28	718	44	1,269	84	2,286
R4	11	373	24	1,973	25	796	60	3,142

- ・館蔵資料や作品を県内各地で見学・鑑賞に供するため、移動博物館・移動美術館を開催した。

移動博物館・移動美術館／出前展示の実績 (単位：回数＝回、入場者＝人)

年度	自然		人文		美術		計	
	回数	入場者	回数	入場者	回数	入場者	回数	入場者
H26	4	3,526	7	2,312	1	246	12	6,084
H27	6	2,611	4	1,003	2	851	12	4,465
H28	5	643	5	3,778	2	569	12	4,990
H29 ^{※1}	2	943	自然・人文共同開催 (左記に含む)		2	2,231	4	3,174
H30	4	674	3	275	2	645	9	1,594
R1 ^{※2}	4	455	5	1,653	2	1,927	11	4,035
R2 ^{※2}	4	475 ^{※3}	1	350	1	406	6	1,231
R3	3	278	1	855	中止	—	4	1,133
R4 ^{※4}	5	—	0	0	1	406	6	406

※1 移動博物館を希望する学校や公民館等の応募開催から、平成29年度より当館が選定する会場での開催に変更。展示を希望する学校への対応は「出前展示」と名称を変更して継続。

※2 自然・人文共同開催の1回は自然の欄に含む。

※3 自然・人文共同開催の1回はショッピングモール開催のため集計できず。

※4 出前展示の入場者数はカウントしていない。

(2) 学校教育支援

- ・博物館の持つ専門知識や博物館資料等の学習資源を学校教育活動やその対象となる学校教職員に提供する「教員のための博物館の日」は54名の参加があった。
- ・同事業は平成26年度に始まり、当時は59名が有給休暇を取得して参加した。平成27年からは県教育センターの研修講座として参加可能となったため、90名と急増した。その後平成28年は61名、平成29年は64名、平成30年は37名、令和元年度は55名と推移している。令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況をふまえ、中止とした。
- ・アウトリーチ事業として各学校等に出前展示、学芸員派遣などの照会を行い、博物館資料を活用した講座を実施した。青谷高校の「青谷学」など博学連携の取組に成長している事案ができた。
- ・コロナ禍のため、令和3年度からオンラインでの学芸員派遣や展示解説を行っている。令和4年度は、学校以外にも放課後児童クラブや病院の院内学級でもオンライン解説を行った。
- ・学校団体の見学対応では、展示室の案内・解説だけでなく、デジタルアーカイブを活用した解説（市のうつつりかわり）も実施した。

(3) 情報発信

- ・生涯学習支援、学校教育支援に関する情報をとりネット(博物館ホームページ)で情報発信した。
- ・平成28年度からFacebookでの情報発信にも努めており、フォロワーは1,579人(令和5年3月末)。更新頻度も増えており、「いいね!」を押すことによる口コミ効果が広がっている。令和2年5月からInstagram、令和3年12月からはTwitterも開設し、SNSで広く情報発信している。
- ・ティラノサウルス展のTwitterでの情報発信は、月間200万アクセスを数え、かなりのPR効果があった。(企画展の来館者数記録更新にも貢献したと考えられる。)
- ・研究報告、普及誌(博物館ニュース)等を発行した。
- ・県立図書館・公文書館・埋蔵文化財センターとの4館合同デジタルアーカイブシステム「とっとりデジタルコレクション」を随時更新し、令和5年3月末の時点で約50万件のアクセス数があった。

3 事業成果(改善状況)、課題等

(1) 事業成果(改善状況)

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインに沿った対策に努めながら事業を実施した。募集人数が少な

くなってしまうものは午前・午後2回に分けるなどの工夫も行った。

- ・県民協力団体と連携した講座を開催した。
- ・学校からの展示希望について、「出前展示」として実施した。
- ・オンラインでの展示解説を複数回実施した。令和4年度は「収蔵庫でのオンライン解説」という新たな試みを実施した。

(2) 課題等

- ・「教員のための博物館の日」は、参加した教職員に好評いただいているが、リピーターが多い。より多くの教職員に参加してもらえるような（広報等の）工夫が必要。
- ・新しい生活様式に沿った新しい普及講座の在り方（3密を避けるなど）を検討し、また、障がいの有無にかかわらずどんな方でも参加可能なユニバーサルな講座の形を模索する。
- ・「とっとりデジタルコレクション」を学習教材として活用するために、教材化および教職員への周知を図っていく必要がある。図書館など「とりデジ」参加機関と連携して教材開発するなどの工夫を検討したい。
- ・オンラインでの展示解説もできる、ということをもっと積極的に学校等にPRしていく。

<令和4年度研究成果>

【自然担当】

- ・地質学雑誌128号に、次の研究を出版・発表した。

- 鳥取県の石「中新世魚類化石群」層準の年代の再検討:山陰東部の前期中新世末の海進史

魚類化石の産地として知られる鳥取市国府町宮下の泥岩層について、これまで不確かであった堆積年代を再検討した。得られた年代値とともに岩相や古流向から当該地域の古地理の推定を行った。

【人文担当】

- ・鳥取県立博物館研究報告60号に、次の研究を出版・発表した。

- 鳥取藩領因幡国岩井郡大庄屋中島家「御用日記」翻刻 その七

当館所蔵の中島家文書「御用日記」の解読を進め翻刻資料を紹介するとともに、記事中の歴史事象に関する若干の考察を加えた。

- 鳥取藩の武器・武具関連職人一覧

鳥取藩政資料を用いて、武器や武具関連の職人名の一覧を作成し、職人研究の基礎データを提供した。

【美術担当】

- ・当館が以前より行ってきた鳥取県の近代絵画の黎明期の画家・安岡信義の調査研究と作品収集成果を踏まえて、その集大成的な意味合いも込めた企画展「安岡信義」を開催し、その成果を反映させた図録も刊行した。

- ・開館以来、美術担当が行ってきた作品収集や普及活動の振り返りを踏まえて、その成果を、展示というかたちで「すべてみせます展」の第3展示室において、テキストというかたちで「記念誌 鳥取県立博物館 50年のあゆみ」の中で示した。

6 決算資料

別途提出

7 事業別実施状況調べ

別途提出

8 予備費の充用調べ

該当なし

9 現金の取扱状況

(1) 現金取扱状況 (令和5年3月31日現在)

収入科目(節)	収入金額(円)	件数(件)	備考	
			収入	備考
教育使用料、博物館使用料	731,190	203	博物館入館料	
物品売払収入	915,350	73	刊行物(図録)売払収入	
雑入	4,010	30	公衆電話使用料、コピー代	
合計	1,650,550	306		

(2) つり銭の状況 (令和5年3月31日現在)

つり銭の有無	有	つり銭の額(円)	250,000
--------	---	----------	---------

10 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(令和5年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				差引		備考		
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日		面積(m ²)	価額(円)
行政財産	鳥取県立博物館 博物館湖山倉庫	鳥取市東町二丁目 124番地	14,227.96	不明	増加	R							
					減少	R							不明
計			3,260.40	不明	増加	R							
					減少	R							不明
			17,488.36	0								17,488.36	0

イ 建物

(令和5年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				差引		備考		
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日		面積(m ²)	価額(円)
行政財産	鳥取県立博物館 博物館湖山倉庫	鳥取市東町二丁目 124番地	9,699.18	726,927,000	増加	R							
					減少	R							726,927,000
計			488.80	15,739,470	増加	R							
					減少	R							15,739,470
			10,187.98	742,666,470								10,187.98	742,666,470

ウ 山林

エ 不動産売却等

オ 財産の交換

該当なし

該当なし

該当なし

力 動 産 (船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし
 キ 物 権 該当なし
 ク 無体財産権 (特許権、著作権、商標権、実用新案権等) 該当なし
 ケ 有価証券 該当なし
 コ 出資による権利 該当なし

(2) 金券類の保有状況
 ア 金券の保有状況
 有 . 無

イ タクシーチケットの保有状況 (令和5年3月31日現在)

前年度未使用枚数	本 年 度 中		本年度未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
92 (JCB : 39枚) (ハイヤ-組合 : 53枚)	40 (JCB : 40枚) (ハイヤ-組合 : 0枚)	41 (JCB : 3枚、期限切れ 38枚) (ハイヤ-組合 : 0枚、未使用処分0枚) 19,290 円	91 (JCB : 38枚) (ハイヤ-組合 : 53枚)

(3) 基 金 (令和5年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		増	減		
鳥取県美術品取得基金	500,000,000	0	457,838,200	42,161,800	美術品 44件
合 計	500,000,000	0	457,838,200	42,161,800	

(4) 債 権 該当なし

1 1 財産の貸付け及び使用許可調べ
 (1) 土地及び建物
 ア 土地 該当なし
 イ 建物

行政・普通 財産の区分	貸付 (使用許可) 目的	所在地	数量 又は 面積	貸付 (使用許可) 年月日	当初貸付 (使用許可) 年月日	貸付 (使用許可) 期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の 貸付(使用)料	住 氏 名	所 名	
行政財産	来館者のための カフェ事業	鳥取市東町二丁目 124番地	35.16㎡	R4.4.1	H23.6.28	R4.4.1 ～ R5.3.31	月額・年額 0	0	鳥取市行徳二丁目260 株式会社 グラン・クリュ食工房		
	鳥取県立博物館 振興会事業	鳥取市東町二丁目 124番地	19.66㎡	H30.4.1	H19.3.30	H30.4.1 ～ R5.3.31	月額・年額 0	0	鳥取市東町二丁目124番地 鳥取県立博物館振興会		
計								0			

(2) 物品 (1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の 貸付料	住 氏 名	所 名			
菅橋彦 「阪都四ツ橋」他	4	絹本・著色 他	R5.1.21 ～ R5.4.2	月額 年額	0	大阪府大阪市北区中之島4-3-1 大阪中之島美術館 館長 菅谷 富夫		大阪中之島美術館	「大阪の日本画」大阪展に出品のため	
佐伯祐三 「オーヴェールの教会」	1	油彩・キャンバス	R5.1.21 ～ R5.4.2	月額 年額	0	東京都千代田区丸の内1-9-1 東京ステーションギャラリー 館長 富田 章		東京 ステーション ギャラリー	「佐伯祐三 自画像としての風景」東京展に出品のため	
合計					0					

1 2 借受不動産明細調べ
 該当なし
 1 3 職員駐車場の管理状況調べ
 該当なし(利用者なし)

14 寄附物件の受納状況調べ

(令和5年3月31日現在)

品名	規格・ 銘柄等	数量	見積金額	寄附 申込 年月日	寄附 申込者 氏名	受納 年月日	受納 手続 の有無	備考
地衣類標本（ヤマハナゴケ）	乾燥標本	1	円 50	R4. 5. 10	個人	R4. 5. 21	有	自然 資料
植物標本（セトヤナギ スブタほか）	乾燥標本	7	350	R4. 5. 13	個人	R4. 5. 21	有	自然 資料
現生花粉	プレパ ラート標 本	35	1,750	R4. 6. 9	個人	R4. 6. 9	有	自然 資料
地学標本（岩石・鉱 物・化石）	乾燥標本	約 2,500	125,000	R4. 7. 25	個人	R4. 8. 1	有	自然 資料
カヤネズミの巣	乾燥標本	7	1,400	R4. 8. 31	個人	R4. 9. 19	有	自然 資料
魚拓	魚拓標本	102	51,000	R4. 11. 11	個人	R4. 11. 18	有	自然 資料
テン剥製（台湾産）	本剥製	1	5,000	R4. 11. 18	個人	R4. 11. 28	有	自然 資料
ツキチョウチョウウオ	冷凍標本	1	10,000	R5. 1. 13	個人	R5. 2. 11	有	自然 資料
アオリイカ（11本 腕）	液浸標本	1	10,000	R5. 1. 19	個人	R5. 2. 11	有	自然 資料
旧鳥取藩土鈴木家資料		24	103,600	R4. 4. 14	個人	R4. 5. 14	有	歴史 資料
ドライビット		1	10,000	R4. 5. 13	個人	R4. 5. 30	有	民俗 資料
槍 銘若狭大掾藤原冬 廣		1	10,000	R4. 6. 9	渡辺美術館	R4. 6. 9	有	歴史 資料
宮脇陽雄氏収集資料		73	997,000	R4. 9. 21	個人	R5. 3. 16	有	歴史 資料
日野郡阿毘縁村西木下 家文書		3,480	2,187,000	R4. 11. 20	個人	R4. 12. 1	有	歴史 資料
民謡収録オープンリール テープ		157	78,500	R4. 12. 8	株式会社 山陰放送	R5. 3. 14	有	民俗 資料
綿入れ、棹ばかり		2	6,000	R5. 3. 10	個人	R5. 3. 14	有	民俗 資料
会見郡赤井手村家石 賀家文書など		122	360,000	R5. 3. 20	個人	R5. 3. 20	有	歴史 資料
安岡信義《橋のかかる 川辺の女性》他	板・油彩 他	79	4,403,000	R4. 3. 1	個人	R4. 4. 8	有	美術 資料
島田元旦《蝦夷奇勝画 稿》他	紙本・著色 他	6	9,233,000	R4. 8. 1	個人	R4. 8. 20	有	美術 資料
中ハシクシゲ《Pine Gate》	ステンレ ス・アル ミニウ ム・真鍮 線	1	7,500,000	R5. 2. 6	個人	R5. 3. 31	有	美術 資料
村岡三郎《蒸留水8ℓ》 他	鉛・ネオ ン管・蒸 留水他	2	3,300,000	R5. 3. 1	個人	R5. 3. 31	有	美術 資料
杉浦家（土方家）伝来 資料（家筋書ほか）	紙本墨書 ほか	37	133,000	R5. 3. 20	個人	R5. 3. 31	有	美術 資料

品名	規格・ 銘柄等	数量	見積金額	寄附 申込 年月日	寄附 申込者 氏名	受納 年月日	受納 手続 の有無	備考
			円					
中島菜刀《紅葉に小禽 図》他 関連資料	紙本墨画 ほか	7	140,000	R5.3.20	個人	R5.3.31	有	美術 資料
合計		約 6,647	28,665,650					

15 備品の処分状況調べ

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不用決定 年月日	処 分					備考
			売払棄 却の別	売払方法・ 棄却理由	処分 年月日	売払 額	処分 費用	
彫刻／杵谷精一「少 女座像（仮題）」	R4.1.17	R4.9.28	棄却	二重登録による 棄却	R4.9.28	円 0	円 0	
デジタルハイビジョ ンプラズマディスブ レイ	H21.8.28	R4.10.19	棄却	故障により使用 不可	R5.1.25	円 0	円 3,232	
文化財殺虫用専用 バッグふくろうくん	H26.12.3	R5.1.14	棄却	耐用年数経過に よる劣化のため 使用不可	R5.1.19	円 0	円 0	
デジタルプロジェク ター	H25.5.14	R5.2.2	棄却	故障により使用 不可	R5.1.30	円 0	円 0	
動物剥製・骨格標本 ／シロエリオオハム 他	R3.3.9	R5.2.21	棄却	二重登録による 棄却	R5.2.21	円 0	円 0	
動物はく製・骨格標 本作成／ハシフトガ ラス他	R4.2.25	R5.2.21	棄却	二重登録による 棄却	R5.2.21	円 0	円 0	
ポスター／長期戦下	R3.3.26	R5.2.21	棄却	二重登録による 棄却	R5.2.21	円 0	円 0	
ポスター／陸軍記念 日	R3.3.26	R5.2.21	棄却	二重登録による 棄却	R5.2.21	円 0	円 0	
ポスター／ 千代田生命ポスター 興亜奉公保険の備え	R3.3.26	R5.2.21	棄却	二重登録による 棄却	R5.2.21	円 0	円 0	
因幡国八東郡吉川村 田中家文書	R3.3.30	R5.2.21	棄却	二重登録による 棄却	R5.2.21	円 0	円 0	
羽柴（徳川）秀忠 （宮部法印宛）	R3.12.10	R5.2.21	棄却	二重登録による 棄却	R5.2.21	円 0	円 0	
御菩薩焼池田家家紋	R3.12.16	R5.2.21	棄却	二重登録による 棄却	R5.2.21	円 0	円 0	
色絵磁器	R4.5.16	R5.2.21	棄却	二重登録による 棄却	R5.2.21	円 0	円 0	
菅楯彦関連資料／絵 画	R4.9.23	R5.2.21	棄却	二重登録による 棄却	R5.2.21	円 0	円 0	
木原義明作水彩画／ 「無題」	R4.6.17	R5.2.22	棄却	二重登録による 棄却	R5.2.22	円 0	円 0	
合計								

16 貸付金等状況調べ
該当なし

17 博物館運営

(1) 管理運営

ア 博物館協議会

鳥取県立博物館協議会(昭和33年条例第16号設置)は、委員13人で構成し、運営、自然、美術、人文の専門部会を組織して運営している。

会議の開催状況

全体会 令和4年6月16日(書面評決)、12月9日

イ 入館料、使用料

入館料

(平成29年4月1日改訂)

区 分		金額			特別展示
		通常展示			
		同日中に特別展示に入館しない場合	同日中に博物館主催の特別展示に入館する場合	同日中に博物館主催以外の特別展示に入館する場合	
個人 1人1回につき	大学生以下	無 料	無 料	無 料	展示に要する経費を勘案して、教育委員会が別に定める額
	学校教育活動での引率者	無 料	無 料	無 料	
	70歳以上	無 料	無 料	無 料	
	障がいのある方 ・難病患者の方 ・要介護者等及びその介護者	無 料	無 料	無 料	
	一 般 人	180円	無 料	90円	
団 体 (20名以上) 1人1回につき	大学生以下	無 料	無 料	無 料	
	学校教育活動での引率者	無 料	無 料	無 料	
	70歳以上	無 料	無 料	無 料	
	障がいのある方 ・難病患者の方 ・要介護者等及びその介護者	無 料	無 料	無 料	
	一 般 人	150円	無 料	70円	

展示室等使用料

(平成27年4月1日改訂)

区 分	金 額	
第1展示室	1日につき 13,300円	半日につき 6,650円
第2展示室	〃 13,300円	〃 6,650円
第3展示室	〃 10,380円	〃 5,190円
講 堂	〃 5,320円	〃 2,660円
会 議 室	1時間につき 270円	

備 考

- この表中「1日」とは午前9時から午後5時までをいい、「半日」とは午前9時から午後1時まで又は午後1時から午後5時までをいう。
- 午後5時を越えて展示室又は講堂を利用するときは、この表に定める使用料の額に1時間につき次の表の左欄に掲げる区分に応じてそれぞれ同表の右欄に掲げる額の使用料を加算する。この場合において、利用時間が1時間未満であるとき又は利用時間に1時間未満の端数があるときは1時間として計算するものとする。

区 分	金 額
第 1 展 示 室	1時間につき 1, 6 6 0円
第 2 展 示 室	" 1, 6 6 0円
第 3 展 示 室	" 1, 3 0 0円
講 堂	" 6 6 0円

3 暖房又は冷房をしたときは、この表に定める使用料の額に当該額の2割に相当する額を加算する。

展示室等利用料金の減免事由

該当項目	減免対象	減免率
芸術文化団体が芸術又は文化の振興のために行う公演、展示、講演、講習等のための催し(実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないものに限る。)のために利用するとき	展示室 講 堂 会議室	1/2
社会教育団体が社会教育活動として行う講習会、講演会、展示会その他の集会等(実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないものに限る。)のために利用するとき	展示室 講 堂 会議室	1/2
障がいのある方、難病患者の方及びその介護者が社会参加の目的のために利用するとき	展示室 講 堂 会議室	1/2 又は 10/10
70歳以上の高齢者が社会参加の目的のために利用するとき	展示室 講 堂 会議室	1/2 又は 10/10
要介護者等及びその介護者が社会参加の目的のために利用するとき	展示室 講 堂 会議室	1/2 又は 10/10
全県の児童、生徒を対象に募集した作品の展示会(博物館の業務に関連のある展示会、講演会又は講習会で、入場料等を徴収しない場合)	展示室 講 堂	10/10
郡市単位以上の児童、生徒を対象に募集した作品の展示会(博物館の業務に関連のある展示会、講演会又は講習会で、入場料等を徴収しない場合)	展示室 講 堂	1/2
教育研究団体が教育内容の向上を目的として行う教職員を対象とした講演会又は講習会等(博物館の業務に関連のある展示会、講演会又は講習会で、入場料等を徴収しない場合)	展示室 講 堂	10/10
個人又は団体等が一般人を対象に開催する展示会、講演会又は講習会等(博物館の業務に関連のある展示会、講演会又は講習会で、入場料等を徴収しない場合)	展示室 講 堂	1/2
博物館の業務に関連のある展示会で、入場料(これに類するものを含む。)が県立博物館の入館料最高額をこえないもので、博物館長が特に減免の必要があると認め、教育長がこれを承認した場合	展示室	展示期間の 前後各1日 10/10
その他博物館長が特に減免の必要があると認め、教育長がこれを承認した場合の展示会、講演会又は講習会等	展示室 講 堂 会議室	1/2 又は 10/10
学校等が、生徒等が行う公演、生徒等の作品の展示等の文化芸術に関する行事(学年(これに相当するものとして知事が別に定めるものを含む。)単位以上の規模で行うこと、実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないことその他知事が別に定める要件に該当するものに限る。)のために利用するとき	展示室 講 堂 会議室 冷暖房料	10/10
幼児・児童又は生徒が参加するもので、対象団体等が主催する文化芸術行事又はスポーツ行事(学年単位以上、学校の文化部が行う発表会等、対象団体が行う大会等) 【対象団体】(県内のものに限る) 幼稚園、保育所、小・中・高等学校、盲・聾・養護学校、高等専門学校、専修学校、指定技能教育施設、教育関係団体	展示室 講 堂 会議室 冷暖房料	10/10

展示室等利用料金の無料事由

該当項目	無料対象
とっとり県民の日(9月12日)には、展示室等使用料(とっとり県民の日の趣旨にふさわしい行事を行う場合に限る。)についてはこれを徴収しない。9月の第2土曜日及びその翌日における当該使用料についても、同様とする。	展示室 講堂 会議室 冷暖房料

ウ 開館時間、休館日

開館時間 午前9時から午後5時まで

(教育委員会があらかじめ指定する日にあつては、午前9時から午後7時まで)

- 休館日
- ・月曜日(その日が国民の祝日に関する法律に規定する休日(以下「休日」という。)である場合は、その翌日(その日が休日でない場合に限る。))
 - ・休日の翌日(その日が日曜日、土曜日又は休日でない場合に限る。)
 - ・12月29日から翌年の1月3日までの日

(2) 利用状況

ア 展示室等利用状況(日数)

(単位:日)

区分	常設 展示室	第1 展示室	第2 展示室	第3 展示室	講堂	会議室	合 計
主 催	323	289	289	278	16	31	1,226
その他	0	69	69	38	22	7	205
計	323	358	358	316	38	38	1,431

イ 博物館利用者数

(単位:人)

区分	常設展	企画展等	講堂	会議室	研究相談	普及活動 (講堂、会議 室を除く)	カフェ 利用者	合 計
主 催	33,828	78,541	717	747	144	2,781	0	116,758
その他	0	9,712	1,515	136	0	0	12,909	24,272
計	33,828	88,253	2,232	883	144	2,781	12,909	141,030

ウ 常設展月別入館者数

(単位：人)

月別	開館日数	幼児			小中学生			高校生			学生			一般			合計			1日当りの入館者数	
		個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計		
4月	28	124	0	124	212	0	212	56	6	62	63	0	63	(388)	(1)	(389)	(388)	(1)	(389)	(389)	47
5月	28	102	1	103	129	139	268	18	0	18	65	0	65	(515)	(2)	(517)	(515)	(2)	(517)	(517)	56
6月	26	1,100	73	1,173	1,222	496	1,718	62	60	122	19	0	19	(949)	(0)	(949)	(949)	(0)	(949)	(949)	165
7月	29	2,160	54	2,214	2,164	96	2,260	110	4	114	27	0	27	(2,356)	(8)	(2,364)	(2,356)	(8)	(2,364)	(2,364)	248
8月	30	1,812	52	1,864	2,582	10	2,592	148	0	148	135	0	135	(3,076)	(0)	(3,076)	(3,076)	(0)	(3,076)	(3,076)	270
9月	28	69	15	84	106	536	642	15	0	15	84	0	84	(270)	(2)	(272)	(270)	(2)	(272)	(272)	66
10月	27	92	0	92	110	666	776	23	51	74	29	0	29	(404)	(26)	(430)	(404)	(26)	(430)	(430)	74
11月	26	144	76	220	170	179	349	13	0	13	51	0	51	(1,343)	(0)	(1,343)	(1,343)	(0)	(1,343)	(1,343)	83
12月	24	60	0	60	111	48	159	9	0	9	69	0	69	(532)	(0)	(532)	(532)	(0)	(532)	(532)	44
1月	25	89	0	89	126	76	202	19	0	19	27	0	27	(82)	(36)	(118)	(82)	(36)	(118)	(118)	31
2月	24	58	9	67	79	10	89	17	0	17	46	0	46	(426)	(0)	(426)	(426)	(0)	(426)	(426)	43
3月	28	116	22	138	224	0	224	80	0	80	107	0	107	(1,157)	(0)	(1,157)	(1,157)	(0)	(1,157)	(1,157)	83
合計	323	5,926	302	6,228	7,235	2,256	9,491	570	121	691	722	0	722	(11,498)	(75)	(11,573)	(11,498)	(75)	(11,573)	(11,573)	104
補足説明	() は入館料減免者で内数である。																				

(3) 事業内容

ア 常設展示

(単位：点)

区 分	実物資料・標本	ジオラマ・模型・機器	計
自 然	2,210	15	2,225
歴史・民俗	820	88	908
美 術	5	0	5
合 計	3,035	103	3,138

(ア) 自然展示室 (1階 515㎡)

鳥取県の自然史、すなわち地質、地形、化石、動物、植物についての歴史と現在の姿を理解できるように、また環境問題や自然との共生を考えるために、実物標本・レプリカ・パネル等を用いてわかりやすく展示解説した。

(イ) 歴史・民俗展示室 (1階 515㎡)

本県の縄文時代から近代までの生活様式の移り変わり、因幡・伯耆の歴史や文化の特色が理解できるように、資料や模型・模写等を用いながら展示解説するとともに、祖先から伝承された生活用具、日用品、芸術娯楽及び年中行事や県内各地の有形・無形の民俗資料を展示解説した。

(ウ) 近代美術展示室 (2階 374㎡)

事 業 名	会 期	内 容
夏休み企画 シリーズ：美術をめぐる場をつくるⅣ 感じる ―鈴木昭男と宮北裕美のありかた	令和5年2月24日 (金)～ 3月21日(火・祝)	多様なアートと出会う場を提供する「シリーズ：美術をめぐる場をつくる」の4年目の企画。今年度は、サウンド・アーティストの鈴木昭男、ダンサー／アーティストの宮北裕美による鳥取のための新作インスタレーション作品の制作・展示を行った。また、音やダンスなど身体表現をベースに表現活動を行う鈴木・宮北らによるライブ・パフォーマンスも併せて実施した。

イ 特別展示

(令和5年3月31日現在)

展覧会名	期間	内容	入館者数 (人)	備考
三蔵法師が伝えたもの 奈良・薬師寺の名品と 鳥取・但馬のほとけさま	R4. 4. 9 ～ R4. 5. 15	7世紀、唐の時代の三蔵法師（玄奘三蔵、602～664）と三蔵法師を開祖とする法相宗の大本山薬師寺（奈良市西ノ京）の歴史と文化を、同寺所蔵の名品をもとに紹介した。さらに、本展では、三蔵法師が伝えた仏教や仏典の鳥取県下や但馬地方（兵庫県北部）におけるひろがりを示す、奈良～平安時代の観音菩薩を中心とした仏像、釈迦十六善神像といった仏画の名品を展示した。あわせて奈良時代、法相宗・興福寺の高僧・玄奘（734～818）が伯耆（鳥取県西部）に隠棲した際、開創されたとされる阿弥陀寺（のち豊寧寺（南部町賀祥））関係資料も紹介した。	4,705	
第61回麒麟のまち鳥取市美術展	R4. 5. 29 ～ R4. 6. 5	鳥取市民に芸術作品を創作する意欲を促すとともに、優れた作品を展示することにより市民に鑑賞の機会を提供し、鳥取市及び鳥取県東部地区の美術振興に寄与するための展覧会を開催した。	2,080	鳥取市
伯耆しあわせの郷 織物教室30周年展	R4. 5. 28 ～ R4. 6. 5	倉吉市の伝統工芸「倉吉緋」の技術を伝承する織物教室の30周年記念展として開催され、着物やタペストリーなど受講者の作品を展示した。	1,040	伯耆しあわせの郷
ティラノサウルス展 ～T. rex 驚異の肉食恐竜～	R4. 6. 18 ～ R4. 8. 28	白亜紀末の北アメリカに生息していた大型肉食恐竜「ティラノサウルス・レックス」は多くの研究者を魅了し、映画を筆頭にメディアにも多数取り上げられるなど、もっとも有名な古生物の一種である。そのティラノサウルスの姿かたちや身体能力、生活様式、進化のプロセスなどの最新の研究成果を、ティラノサウルスをはじめとした恐竜の全身骨格（複製）の展示などとともに紹介・解説した。	64,139	
第66回鳥取県美術展覧会	R4. 9. 17 ～ R4. 9. 26	広く県民の方から美術作品を募り、優れた作品を展示することにより、創作活動の振興を図るとともに、鑑賞の機会を提供し、県内の美術、文化の振興に寄与する展覧会を開催した。	3,703	鳥取県 (文化政策課)
すべてみせます！収蔵庫の資料たち	R4. 10. 29 ～ R4. 12. 11	開館50周年を記念して、自然・人文・美術の総合博物館である鳥取県立博物館の資料収集と調査研究の50年を紹介した。前身である鳥取県立科学館時代から収集されてきた県民一人一人の財産である資料を、可能な限りすべて展示し、県立博物館の意義と役割を考える機会を提供した。	7,490	
第20回鳥取県ジュニア美術展覧会	R5. 1. 7 ～ R5. 1. 15	鳥取県の児童・生徒等の創作作品を発表する場を提供し、出展機会を拡大することで芸術文化活動への意欲を高め、県内の青少年の美術活動の振興を図るための展覧会を開催した。	2,323	鳥取県 (文化政策課)
あいサポート・アートとっとり展東部巡回展	R5. 1. 20 ～ R5. 1. 28	平成26年度に開催した「第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会(あいサポート・アートとっとりフェスタ)」の成果を未来に引き継ぐため、障がい者が取り組む作品制作活動の発表と鑑賞の機会を提供することを目的に、令和4年12月3日に開幕した令和4年度鳥取県障がい者芸術・文化作品展「あいサポート・アートとっとり展」の東部巡回展を開催した。	546	鳥取県 (障がい福祉課)

展覧会名	期間	内容	入館者数 (人)	備考
安岡信義 1888-1933— —近代洋画の黎明期を 生きた画家	R5. 2. 11 ～ R5. 3. 21	歿後90年を迎える鳥取市出身の洋画家・安岡信義（1888-1933年）に焦点をあて、その画業の全容を初めて網羅的に紹介する回顧展。これまで未公開であった作品ならびに関連資料群の調査を通じて、安岡の仕事の全貌に迫ると同時に、彼が学んだ東京美術学校で教鞭を執っていた黒田清輝や久米桂一郎、岡田三郎助ら日本近代洋画を牽引する画家の作品を併せて紹介することで、同時代の諸相の中で安岡の画業を位置づける機会とした。また図画教師として後進の育成と文化振興に努めた富山時代については、教え子らの作品を介して、一地方画壇が形成される端緒を築いた安岡が美術教育者としての姿にも迫るものとした。	2,207	
合 計			88,233	

ウ 普及活動

(ア) 移動博物館
実績なし

(イ) 出前展示

テーマ		場 所	期 日	定員	参加人数
自然	レッドデータブックととりの生きもの	鳥取養護学校	9月6日(火)～ 9月14日(水)	/	—
	鳥取県の化石	倉吉市立関金小学校	9月13日(火)～ 9月16日(金)	/	—
	鳥取県の化石	北栄町立北条小学校	9月20日(火)～ 10月7日(金)	/	—
	鳥取県博物館の昆虫標本	倉吉養護学校	11月28日(月)～ 11月30日(水)	/	—
	レッドデータブックととりの生きもの	鳥取市立青谷中学校	12月12日(月)～ 12月21日(水)	/	—
合 計 5 回					—

※人数はカウントしていない

(ウ) 移動美術館

テーマ		場 所	期 日	定員	参加人数
移動美術館	もう少し版画りましょう	キナルなんぶ	7月23日(土)～ 8月7日(日)	/	406
合 計 1 回					406

(エ) ①学芸員派遣(教職員向け講師・指導助言)

テーマ		場 所	期 日	定員	参加人数
自然	とっとり生物多様性推進センター連絡協議会	鳥取県東部事務所	5月23日(月)	14	14
	岩美町小栗浜の海浜養生に伴う鳥取県絶滅危惧種スナビキソウのミティゲーションの指導	岩美町浦富小栗浜	6月1日(水)	/	4
	鳥取市さじアストロパーク管理運営委員会	鳥取市さじアストロパーク	7月12日(火)	/	14
	第7回千代川の今後を考える学識懇談会	オンライン	8月4日(木)	/	12
	令和4年度第2回とっとり生物多様性センター連絡協議会兼とっとり環境イニシアティブ県民会議生物多様性保全部会	県庁議会棟3階第15会議室	9月29日(木)	/	9
	第9回千代川河川アドバイザー会議	鳥取河川国道事務所	11月7日(月)	/	16
	自然解説研修	鳥取県立大山青年の家	11月9日(水)	/	8
美術	東部小学校教育研究会図画工作部会	博物館講堂	7月29日(金)	/	48
合 計 8 回					125

(エ) ②学芸員派遣

テーマ		場 所	期 日	定員	参加人数
自然	唐川湿原自然観察会	岩美町唐川湿原	4月3日(日)	/	14
	「自然観察さいしょの一步」下見観察会	倉吉市 打吹山	5月8日(日)	/	14
	赤碕海岸ハマナス見学会	赤碕港展望駐車場	5月15日(日)	24	26

	テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
自然 の 続 き	青谷学（青谷町の地形と地質）	青谷高等学校	5月25日（水）		13
	第586回 自然観察指導員講習会	とやま旅館（大山町大山）及びその周辺	5月28日（土）～29日（日）	40	74
	第8回オカヒジキ戻ってこいこいプロジェクト@熊井浜	岩美町牧谷熊井浜	6月5日（日）	20	9
	令和4年度生涯学習委託事業「地域の仲間づくり事業」空山での自然観察会	米里地区公民館	6月10日（金）		16
	青谷学 青谷町に広がる溶岩／勝部谷	青谷高等学校	6月15日（水）		13
	恐竜と化石をまなぼう！	鳥取養護学校	6月22日（水）		50
	ハマナス自生地の調査・保護活動研修会	琴浦町赤碕海岸朝日町区	6月24日（金）		10
	恐竜と化石	遷喬地区公民館	6月25日（土）	20	25
	校内ビオトープでの昆虫観察と採集	鳥取市立明德小学校	6月30日（木）		21
	校内ビオトープで採集した昆虫の標本作り	鳥取市立明德小学校	7月6日（水）		24
	ティラノ展オンライン展示解説	博物館展示室	7月8日（金）		50
	見て触って城山自然ツアー	湊山公園米子城跡	7月16日（土）		18
	スペシャル観察会「石ころ標本をつくろう」	八頭郡若桜町庄の瀬八東川河原	7月18日（月）	20	16
	国語科での学芸員派遣「因幡の白うさぎ」で扱うがまの穂について	倉吉養護学校	7月19日（火）	9	9
	化石レプリカをつくろう！	ハーモニカレッジ	7月21日（木）	20	24
	ジオを発見！親子で自由研究 石ころ	湯谷荘	7月23日（土）	10	11
	親子新聞教室	博物館会議室	7月25日（月）	10	12
	ケーブルテレビ番組撮影の解説	湯梨浜町内	7月26日（火）～28日（木）		15
	化石のレプリカ作り体験	気高町立図書館	7月29日（金）	8	11
	化石のレプリカ作り体験	博物館会議室	8月4日（木）	20	25
	親子新聞教室	博物館会議室	8月12日（金）	10	13
	オンライン展示解説	博物館展示室	8月26日（金）		72
	青谷学	鳥取県立青谷高等学校	8月31日（水）	13	13
身近な自然観察のポイント	鳥取市湖山池青島	9月7日（水）	20	16	
青谷学	鳥取県立青谷高等学校	9月14日（水）		15	

	テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
自然 の 続 き	トンボ観察会	とっとり出会いの森 (鳥取市桂見)	9月25日(日)	20	20
	東郷湖羽合臨海公園 蝶々の観察と ミニバタフライガーデンづくり	東郷湖羽合臨海公園 浅津公園	10月2日(日)	20	6
	化石のレプリカ作り	チュウブ鳥取砂丘こど もの国	10月10日(月)		250
	鳥取西高等学校ESD研修	博物館講堂	10月12日(水)		8
	青谷学	鳥取県立青谷高等学校	10月12日(水)		15
	自然観察指導員鳥取・島根交流会	キナルなんぶ	10月22日(土)		28
	立体地図作り	鳥取市立浜坂小学校	11月2日(水)		11
	野外観察イベント「おちばの中の虫 さがし！」	とっとり出会いの森	11月6日(日)	15	8
	第6学年「大地のつくりと変化」	鳥取市立大正小学校	11月17日(木)		25
	植物の陸上進出	鳥取大学	11月22日(火)		39
	見て触って米子城自然ツアー	湊山公園米子城跡	11月23日(水)		18
	第3学年図工「土でかく」	鳥取市立面影小学校	12月7日(水)		29
	あなたの蘚苔(せんたい)ヒーロー はどのコケ?	にちなん日野川の郷多 目的ホール	1月14日(土)		13
	オンライン収蔵庫解説	博物館3階収蔵庫	1月31日(火)		5
	見て触って米子城自然ツアー	湊山公園米子城跡	2月23日(木)		21
鳥取の化石	鳥取市立青谷中学校	3月16日(木)		35	
人文	古文書解説ボランティア	博物館会議室、倉吉博 物館、米子市旧市庁舎	4月2日(土)~3日 (日)		中止
	古文書解説ボランティア	博物館会議室、倉吉博 物館、米子市旧市庁舎	5月7日(土)~8日 (日)		中止
	古文書解説ボランティア	博物館会議室、倉吉博 物館、山陰歴史館	6月4日(土)~5日 (日)		29
	古文書解説ボランティア	博物館会議室、倉吉博 物館、米子市旧市庁舎	7月2日(土)~3日 (日)		35
	古文書解説ボランティア	博物館会議室、倉吉博 物館、米子市旧市庁舎	8月6日(土)~7日 (日)		中止
	民間伝承の伝わり方(伝説・民話・ 怪談の誕生から伝わるまで)	米子市立図書館 特別 閲覧室	8月18日(木)		1
	古文書解説ボランティア	博物館会議室、倉吉博 物館、米子市旧市庁舎	9月3日(土)~4日 (日)		中止
	古文書解説ボランティア	博物館会議室、倉吉博 物館、米子市旧市庁舎	10月1日(土)~2 日(日)		中止
	古地図ぶらりを使った鳥取市内の町 歩き	鳥取市移住定住ガーデ ン	10月22日(土)		10
	古文書解説ボランティア	博物館会議室、倉吉博 物館、米子市旧市庁舎	11月5日(土)~6 日(日)		中止

	テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
人文 の 続 ぎ	伯耆の荒神信仰と神崎神社	米子市立図書館2階研 修室	11月12日(土)	60	33
	古文書解説ボランティア	博物館会議室、倉吉博 物館、米子市旧市庁舎	12月3日(土)～4 日(日)		中止
	古文書解説ボランティア	博物館会議室、倉吉博 物館、米子市旧市庁舎	1月7日(土)～8日 (日)		中止
	古文書解説ボランティア	博物館会議室、倉吉博 物館、米子市旧市庁舎	2月4日(土)～5日 (日)		中止
	古文書解説ボランティア	博物館会議室、倉吉博 物館、米子市旧市庁舎	3月4日(土)～5日 (日)		中止
美術	《ワークショップ》紙コップでア ート	三朝児童クラブ(三徳 センター、三朝町片 柴)	4月4日(月)		29
	コレクション宅配便	鳥取看護大学	5月12日(木)		86
	《ワークショップ》紙コップ100 00個でアート	琴浦町立浦安小学校	6月9日(木)		65
	《ワークショップ》不思議な絵の具 で遊ぼう!	八頭町立八東小学校	6月10日(金)		25
	コレクション宅配便	みなとテラス(境港 市)	9月11日(日)		80
	コレクション宅配便	米子工業高等専門学校	10月14日(金)		43
	コレクション宅配便	伯耆町立岸本中学校	11月14日(月)		66
	コレクション宅配便	鳥取短期大学	11月15日(火)		30
	コレクション宅配便	米子工業高等専門学校	12月8日(木)		45
	アーティストとつくろう!	鳥取市立湖東中学校	1月13日(金)		11
	アーティストとつくろう!	鳥取市立湖東中学校	3月14日(火)		11
	合 計 70 回(うち10回中止)				

(オ) 教員向けイベント

テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
教員のための博物館の日2021	博物館講堂、会議室、 展示室	8月1日(月)		54
合 計 1 回				54

(カ) 普及講座・講演会

● 自然部門

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《天体観望会》春の星を見る会	博物館多目的広場	5月4日(水)		65
《野外観察会》生物学会員と歩くいきもの観察会	大山	5月7日(土)	30	49
《野外観察会》自然観察さいしょの一步	倉吉市打吹山	5月22日(日)	20	23
《野外観察会》昆虫観察入門～初夏の虫をさがそう!～	博物館会議室、博物館 周辺	6月5日(日)	10	31
《野外観察会》夜の昆虫観察	博物館周辺	6月25日(土)	20	33
《野外観察会》スマホで楽しむ変形菌撮影会	博物館会議室、博物館 周辺	6月26日(日)	12	12
《自然講座》鳥取養護学校高等部のみんなと化石のでき方を学ぼう!～化石入り岩石づくり体験!～	博物館会議室	7月17日(日)	20	16
《自然講座》標本しらべ教室	博物館会議室ほか	7月23日(土)～8 月28日(日)		41
《自然講座》チリメンモンスターをさがそう!	博物館会議室	7月24日(日)	40	41
《自然講座》昆虫の標本をつくろう!	博物館会議室	7月30日(土)	20	30
《自然講座》昆虫の体のつくりをしらべよう!	博物館会議室	7月31日(日)	20	32
《自然講座》化石クリーニング教室	博物館会議室	8月6日(土)	40	中止
《自然講座》化石レプリカをつくろう! [ティラノサウルスの歯!]	博物館会議室	8月14日(日)	40	中止
《自然講座》ふわふわ!キラキラ!鳥の羽を楽しもう	博物館会議室	8月21日(日)	20	中止
《天体観望会》夏の星を見る会	博物館多目的広場	9月18日(日)		中止
《野外観察会》きのこを調べる会	大山寺地区	10月8日(土)	20	中止
《野外観察会》あっと、ときめくコケ観察会	日野町山村開発セン ター、周辺	11月19日(土)	24	中止
《野外観察会》おちばの中のモンスターをさがそう!	倉吉市打吹山	11月19日(土)	20	中止
《自然講座》描いてみよう♪サイエンス生物画	博物館会議室	11月20日(日)	20	中止
《シンポジウム》「辰巳峠」は昆虫化石の宝庫!	博物館講堂	12月3日(土)	250	中止
《野外観察会》はじめてのバードウォッチング	鳥取市湖山池	12月11日(日)	15	中止
《自然講座》砂つぶトレジャーハンティング!	博物館会議室	12月25日(日)	20	中止
合 計 22 回(うち11回中止)				373

● 人文部門

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《トーク》お坊さんがやって来た◇第1回	博物館会議室、展示室	4月9日(土)～12日(日)		300
《記念講演会》玄奘三蔵 不東の御精神	博物館講堂	4月9日(土)	200	92
《歴史講座》近世中後期の朝廷と鳥取藩—公家と関係を結ぶ人びと—	博物館会議室	4月17日(日)	20	20
《歴史講座》鳥取県内の釈迦十六善神像と大般若経について	博物館講堂	4月17日(日)	200	63
《トーク》お坊さんがやって来た◇第2回	博物館会議室、展示室	4月22日(金)～24日(日)		350
《講演会》薬師寺まほろば塾 鳥取塾「玄奘三蔵の道」	博物館講堂	4月23日(土)	200	177
《トーク》お坊さんがやって来た◇第3回	博物館会議室、展示室	4月28日(木)～30日(土)		235
《歴史講座》企画展特別関連行事「はじめてのお写経講座」in鳥取県立博物館	博物館会議室	4月28日(木)～5月15日(日)	60	9
企画展展示解説	博物館展示室	5月1日(日)		22
企画展展示解説	博物館展示室	5月3日(火)		40
企画展展示解説	博物館展示室	5月4日(水)		22
企画展展示解説	博物館展示室	5月5日(木)		20
《トーク》お坊さんがやって来た◇第4回	博物館会議室、展示室	5月13日(金)～15日(日)		400
《歴史講座》倉吉周辺の寺社巡り『和久嶋旧跡往来』を読む	博物館講堂	5月14日(土)	30	20
《歴史講座》戦後の食糧危機と鳥取県&GHQ	博物館会議室	6月11日(土)		14
《歴史講座》明治30年の陰陽連絡線建設中止の反対運動について	博物館会議室	7月9日(土)		25
《歴史講座》ふすまの下のお宝を探そう	博物館会議室	8月11日(木)	20	中止
《歴史講座》幕末の「登山」—安達清風を中心として	博物館会議室	8月13日(土)		中止
《民俗講座》鳥取県の民話を聞く会	博物館展示室	8月21日(日)	30	中止
《歴史講座》中世後期日野山名氏の動向	博物館会議室	9月10日(土)		中止
《歴史講座》天狗党の争乱と鳥取藩	博物館会議室	10月8日(土)		中止
《歴史講座》勾玉づくり	博物館会議室	10月9日(日)	20	中止
《歴史講座》近現代の旧藩主池田家	博物館会議室	11月12日(土)		16
《歴史講座》古戦場・山城・荘園をあるく—法勝寺と尼子・三沢氏—	南部町法勝寺周辺	11月13日(日)	20	中止
《歴史講座》「災害時等の県立公文書館、図書館、博物館等の市町村との連携・協力実施計画」の概要	博物館会議室	12月10日(土)		11
《歴史講座》幕末維新の古文書を楽しむ(安達清一郎編)	博物館会議室	12月11日(日)	20	中止

(● 人文部門の続き)

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《歴史講座》山名氏の古文書を読む	博物館会議室	1月8日(日)	20	中止
《歴史講座》地域社会における「モード」としての社会運動	博物館会議室	1月14日(土)		14
《歴史講座》お正月の遊びを楽しもう!	博物館会議室	1月15日(日)	16	中止
《歴史講座》はじめての考古学(入門編)	博物館会議室	1月22日(日)	20	中止
《民俗講座》鳥取県の民話を聞く会	博物館展示室	2月5日(日)		25
《講演会》狗尸那城跡を読み解く	博物館講堂	2月11日(土)		44
《歴史講座》山名系図の研究—系図情報と一次史料からみる山名氏・因伯—	博物館会議室	3月11日(土)		37
《歴史講座》伯耆往来をあるく(淀江~東山公園)	米子市	3月19日(日)	20	17
合 計 34 回 (うち11回中止)				1,973

● 美術部門

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《ギャラリートーク》おしゃべりアート鑑賞 初めての対話型鑑賞	1階休憩コーナー	4月9日(土)	6	6
《アートレクチャー》超やさしい仏像・仏画 鑑賞入門	博物館会議室	4月16日(土)	10	7
《ワークショップ》らくがきばんざい!(春編)	博物館前庭	4月23日(土)		15
《ワークショップ》公開ミーティング#01 対話型鑑賞ファシリテーター登録者ミーティング	博物館会議室	4月30日(土)		32
《ワークショップ》シリーズ:MUSEUMで描く① 博物館で見つけたお気に入りのかたち	博物館展示室、会議室	5月7日(土)	12	20
《ワークショップ》じっくりものづくりワークショップ 革のポーチづくりに挑戦!	博物館会議室	5月14日(土)	15	11
《アートシアター》ペギー・グッゲンハイム アートに恋した大富豪	博物館講堂	5月21日(土)	100	18
《アートシアター》ペギー・グッゲンハイム アートに恋した大富豪	博物館講堂	5月28日(土)	100	18
《ワークショップ》色水であそぼう! in 米子市児童文化センター	米子市児童文化センター 屋外広場	6月4日(土)	60	156
《ワークショップ》夏の普及事業の作戦会議「ワークショップづくり隊!」ミーティング	博物館会議室	6月11日(土)		11
《アートシアター》エッシャー 視覚の魔術師(2018年/オランダ)	博物館講堂	6月18日(土)	100	9
《アートシアター》エッシャー 視覚の魔術師(2018年/オランダ)	博物館講堂	6月25日(土)	100	6
《ワークショップ》モールでアート!—博物館の“生きものたち”をつくろう	博物館会議室	7月2日(土)	50	25
《ワークショップ》シリーズ:MUSEUMで描く② 博物館で見つけたお気に入りのかたち	2階休憩コーナー	7月9日(土)	50	中止

(● 美術部門の続き)

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《シリーズ「美術をめぐる場をつくる」番外編》かざぐるまでアート!	博物館中庭	7月16日(土)		22
《シリーズ「美術をめぐる場をつくる」番外編》かざぐるまでアート!	博物館中庭	7月23日(土)		71
《ワークショップ》移動美術館南部展 関連企画「エンボッシング」でオリジナルポストカードをつくろう!	キナルなんぶ	7月30日(土)	15	中止
《スペシャルアートシアター》「前世紀探検」	博物館講堂	8月6日(土)	70	28
《スペシャルアートシアター》「前世紀探検」	博物館講堂	8月13日(土)	70	中止
《ワークショップ》「ワークショップづくり隊!」企画 シン・キョウリュウをつくろう!	博物館会議室	8月20日(土)	10	中止
《ワークショップ》泥でアート!	博物館地下駐車場	8月27日(土)		中止
《スペシャルアートシアター》「ストーリー」デジタルリマスター版	博物館講堂	9月3日(土)	70	中止
《スペシャルアートシアター》「ストーリー」デジタルリマスター版	博物館講堂	9月10日(土)	70	中止
《ワークショップ》らくがきばんざい! 秋編	博物館前庭	9月17日(土)		中止
《ギャラリートーク》おしゃべりアート鑑賞2 初めての対話型鑑賞	エントランスホール	9月24日(土)	18	中止
《ギャラリートーク》企画展「安岡信義 1888-1933 近代洋画の黎明期を生きた画家」	博物館展示室	2月11日(土)		40
《ワークショップ》「作品鑑賞と対話型鑑賞の愛すべき往復書簡」	博物館会議室、展示室	2月25日(土)	10	9
《ワークショップ》公開ミーティング#02 対話型鑑賞ファシリテーター登録者ミーティング	博物館講堂	2月25日(土)		19
《オープニング・イベント》ライヴ・パフォーマンス/オープニング・トーク	博物館展示室	2月26日(日)		68
《ギャラリートーク》企画展「安岡信義 1888-1933 近代洋画の黎明期を生きた画家」	博物館展示室	3月4日(土)		35
《イブニング・スライドトーク》「麗しの素描の世界- 安岡信義を起点として」	HATSUGAスタジオ	3月11日(土)	15	3
《アートシアター》「ソラネ 幸福の帽子をかぶって生まれてきた子」上映会&ディレクター・トーク	博物館講堂	3月12日(日)		45
《特別講演会》「安岡信義の生きた時代- 東京美術学校の美術教育と洋画界」	博物館講堂	3月18日(土)	70	30
《テーマ展関連イベント》音とダンスのパフォーマンス「TaYuTaI」	博物館講堂	3月19日(日)		92
合 計 34 回(うち9回中止)				796

総参加者数	5,486
-------	-------

エ 調査研究活動

分野	事項
地学	鳥取県の地形地質と化石に関する調査研究
動物	鳥取県の動物相および動物の分類に関する調査研究 鳥取県沿岸の漂着動物に関する調査研究
植物	鳥取県の植物相および植物の分類に関する調査研究
考古	館蔵品の調査研究 鳥取県内の原始・古代の遺跡の調査研究
歴史	鳥取県内の釈迦十六善神像及び大般若経の調査
民俗	鳥取県内の社寺の棟札に関する調査研究
美術	鳥取県に関係した美術資料、作家や作品等に関する調査研究 令和4年度企画展(「すべてみせます! 収蔵庫の資料たち」「安岡信義」)および令和5年度企画展(「創造的対話展04」「根本幽峨」)等に関する調査研究
教育普及	鳥取県立博物館「ふるさとキャリア教育」学習支援プログラムの開発に関わる研究 デジタルアーカイブに関する研究

18 博物館資料保有状況

(単位: 点)

区分	前年度末 保有点数	本年度増加点数					本年度中 減少点数	本年度末 保有点数
		購入	寄贈	採集	保管換	分類換		
地学	8,143		488					8,631
動物	36,418	8	3	87				36,516
植物	55,723	2	153	393				56,271
歴史	55,342	12	3,700					59,054
近現代資料	8,294	109						8,403
民俗	4,133		160					4,293
考古	8,292							8,292
美術	10,314	171	132		1			10,618
合計	186,659	302	4,636	480	1	0	0	192,078